

## 第1 平成28年度上半期の財政状況

### I 補正予算のポイントは何か。 ～ 予算編成のポイント ～

9月補正予算では、クルーズ船の寄港の大幅な増加への対応のほか、東京国立近代美術館工芸館の移転決定など、当初予算編成以降の情勢の変化や事業の進捗等により、新たな対応が必要となった施策について予算編成を行いました。

### II どのような事業が盛り込まれているのですか。 ～ 補正予算の重点施策 ～

#### <9月補正予算>

##### 金沢港発着クルーズの定着促進

- ・日本海定期周遊クルーズの大幅な増加を踏まえた取組強化
- ・金沢港無量寺岸壁の水深10m化整備



来年度日本海定期周遊クルーズで運航されるコスタネオロマンチカ号

##### 工芸王国石川の更なる魅力の向上と発信

- ・東京国立近代美術館工芸館の移転整備（基本設計）
- ・工芸館と連携した特別展の開催による移転に向けた機運の醸成

##### 新たな県立図書館の整備促進

- ・金沢大学工学部跡地へのアクセス道路の整備（ルート調査など）

##### いしかわ就職・定住総合サポートセンター（ILAC）の機能拡充

- ・移住先未決定者に対する働きかけ強化

##### 学生の県内定着促進

- ・県内企業でのインターンシップの促進

### **子育てに係る経済的負担の軽減**

- ・ 第2子の保育料の無料化（H28年11月～）

### **海外誘客の促進**

- ・ 石川の本物の魅力を活かした富裕層誘客の強化

### **小松空港・のと里山空港の利用促進**

- ・ デイリー運航再開決定を受けた小松・台北便の双方向での利用促進
- ・ 小松・羽田便、能登・羽田便の利用促進

### **農林水産業の収益性の向上と多様な担い手の確保**

- ・ コマツと連携した新たな発想による収益力の向上

### **地域の強みを活かした里山里海の振興**

- ・ 石川型スローツーリズムの先導的モデルの構築支援

### **奥卯辰山健民公園の整備**

- ・ 新公園センター（仮称）の建設



奥卯辰山健民公園新公園センター（仮称）外観イメージ

### **県民生活の安全・安心の確保**

- ・ 災害に強い県土の基盤づくり
- ・ 医療・福祉施設の整備促進

### Ⅲ 予算額はいくらですか。 ～ 一般会計補正予算と現計予算の状況 ～

#### 歳出性質別予算

△印減(単位:千円、%)

区 分	9月補正予算額	平成28年度9月 現計予算額 A	平成27年度9月 現計予算額 B	増減率 (A-B) B
1 職 員 費	-	135,896,938	135,686,539	0.2
2 投 資 的 経 費	7,712,653	99,243,064	91,992,107	7.9
一 般 公 共 事 業	5,946,731	54,243,441	44,793,155	21.1
国 庫 補 助 建 設 事 業	1,224,587	4,691,531	3,950,563	18.8
一 般 単 独 事 業	185,335	29,348,501	28,660,196	2.4
災 害 復 旧 事 業	-	3,253,403	5,659,640	△ 42.5
国 直 轄 事 業 費 負 担 金	65,000	7,274,388	7,634,703	△ 4.7
受 託 事 業	291,000	431,800	1,293,850	△ 66.6
3 土 木 施 設 維 持 補 修 費	-	1,812,217	1,812,217	-
4 一 般 行 政 経 費	364,405	228,466,032	220,435,289	3.6
国 庫 補 助 の ある も の	90,000	68,338,385	65,562,861	4.2
国 庫 補 助 の な い も の	274,405	160,127,647	154,872,428	3.4
5 公 債 費	-	122,388,807	96,186,770	27.2
合 計	8,077,058	587,807,058	546,112,922	7.6

- **上半期補正予算**は、80億円余となり、当初予算と合わせた予算規模は5,878億円余、平成27年度9月現計予算に比べ7.6%増となっています。

#### ひとくちメモ

##### 投資的経費

道路、学校、公営住宅の建設等その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費で、普通建設事業費及び災害復旧事業費からなっています。普通建設事業のうち、国の補助金・負担金を受けて行う事業が「一般公共事業」、国からの補助金を受けることなく独自に実施する事業が「一般単独事業」です。

##### 一般行政経費

すべての行政事務に要する経費から、人件費、投資的経費、維持補修費、公債費を除いたものですが、一般的には、投資的経費がハード整備に要する経費であるのに対し、一般行政経費は産業振興、少子・高齢化対策、観光振興、環境対策などのソフト事業に要する経費といえます。

歳出目的別予算

△印減(単位:千円、%)

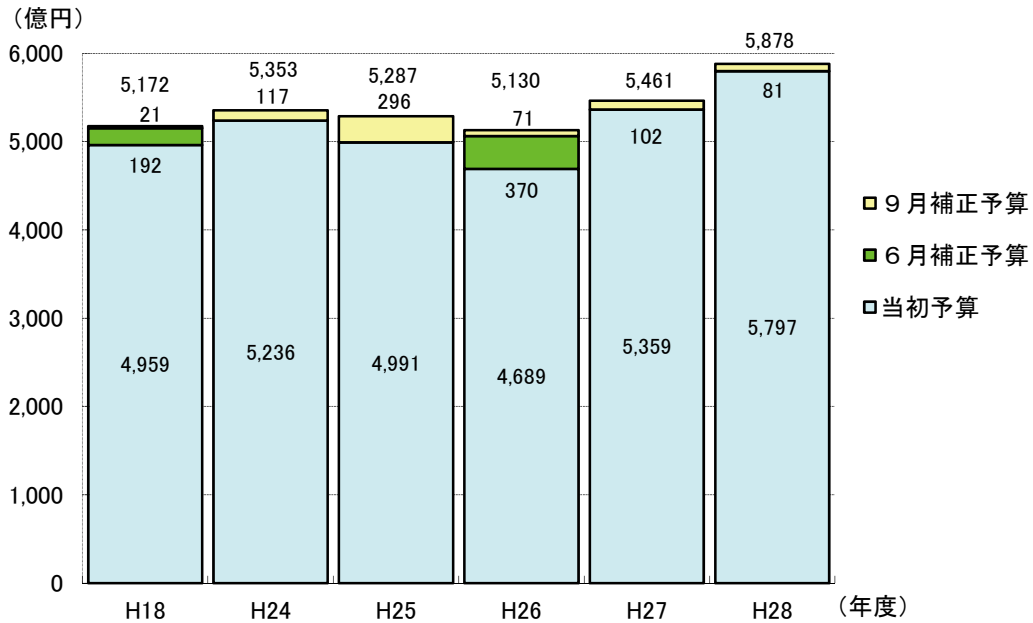
区 分	9月補正予算額	平成28年度9月 現計予算額 A	平成27年度9月 現計予算額 B	増減率 (A-B) B
1 議 会 費	-	1,182,784	1,175,645	0.6
2 総 務 費	-	75,375,083	73,318,766	2.8
3 企 画 県 民 文 化 費	58,000	23,256,790	27,396,237	△ 15.1
4 健 康 福 祉 費	613,201	82,984,296	80,279,628	3.4
5 環 境 費	-	3,430,483	4,500,475	△ 23.8
6 商 工 労 働 費	114,250	35,269,249	35,021,566	0.7
7 観 光 費	12,000	17,450,452	2,499,312	598.2
8 農 林 水 産 業 費	1,114,543	31,073,357	29,771,283	4.4
9 土 木 費	6,101,064	60,570,998	62,406,435	△ 2.9
10 警 察 費	64,000	24,641,288	24,960,183	△ 1.3
11 教 育 費	-	106,272,503	102,355,039	3.8
12 災 害 復 旧 費	-	3,554,159	5,940,304	△ 40.2
13 公 債 費	-	122,545,616	96,288,049	27.3
14 予 備 費	-	200,000	200,000	-
合 計	8,077,058	587,807,058	546,112,922	7.6

ひとくちメモ

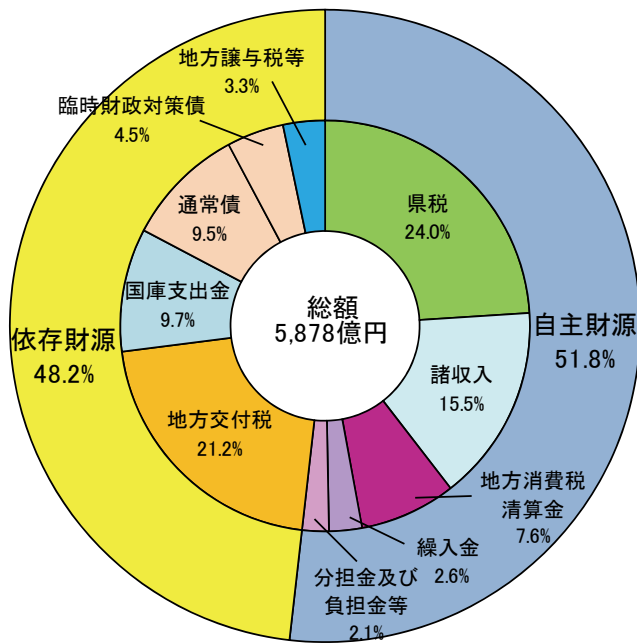
公債費

地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額をいい、人件費、社会保障関係経費（介護保険などの高齢者対策、子育て支援、障害者施策、国民健康保険関連経費など）とともに義務的経費ですが、人件費や社会保障関係経費と違い、過去の債務の支払いに要する経費です。

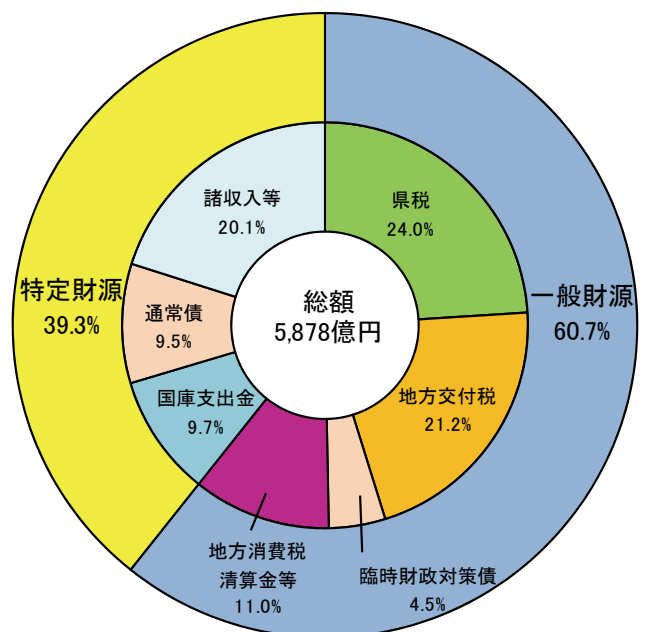
### <一般会計 9月現計予算の推移>



### <歳入 自主財源・依存財源別(現計予算)>

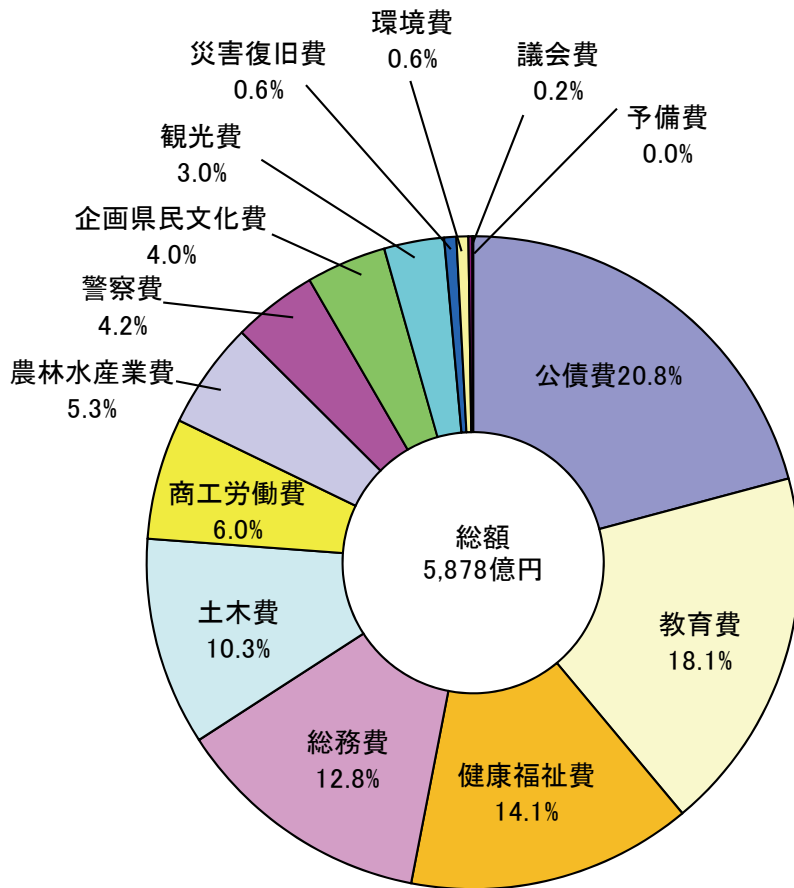


### <歳入 一般財源・特定財源別(現計予算)>



(注) 端数処理のため内訳が合計に一致しない場合があります。

<歳出 目的別(款別)内訳(現計予算)>



<歳出 性質別内訳(現計予算)>

